



大石 恵 准教授

【おいしい めぐみ】

1973年生まれ。山口県出身。中国経済論・アジア経済史担当。史料調査で訪れる台湾で、地元民に間違えられること多数。

- 中国経済論Ⅰ・Ⅱ
- アジア経済史Ⅰ

「空の攻防」を巡る研究

研究テーマについて

みなさんは、海外旅行の経験がありますか？ その時、どの航空会社を利用しましたか？

現在、世界の主要都市を結ぶ民間航空路線は数多く開設されており、我々にとって「空の旅」は非常に身近なものとなっています。こうした民間航空の発展には、様々な背景があります。技術進歩は、航空輸送の発展に欠くことのできない要因の1つです。1950年代末に到来したジェット時代は、機材の高速化、大型化への転換点となりましたし、1970年代に就航したジャンボ機（ボーイング747型機）は、空の大量輸送時代の立役者とも言えるでしょう。

また、国連専門機関の1つであるICAO（国際民間航空機関）の発足（1947年4月）も、民間航空の発展に寄与してきました。ICAOでは、国際的な民間航空の運営原則や条約の作成などを行い、安全かつ円滑な航空輸送の実現に努めています。

こうした点に加えて、民間航空に大きく影響を与える事柄があります。それが、外交という国家・地域間の問題です。各国政府間の利害が、民間航空路線の開設・増設、就航地の決定過程などに正の効果をもたらすこともあれば、時として、負の影響を及ぼすこともあります。

現在は、冷戦初期の台湾を対象に、国際関係や外交問題と密接にかかわる民間航空路線の拡張や、政府の航空会社育成政策について研究をすすめています。

ゼミの内容について

ゼミでは、広く中国・アジア経済について学習を進めていきます。アジアという空間的な広がりだけでなく、歴史という時間的な広がりを組み合わせることで、各国・地域への理解を深めていくことを目標としています。単に今の中国・アジアを見るだけでなく、その背景にあるものを読み解く力を養っていく手助けができればと考えています。

中国の経済や政策を歴史的観点から学び、現代中国が抱える様々な問題などにも言及します。また、中国のみならず、東アジアから南アジアの各国・地域についても学べます。ゼミでの発表回数が多いので、資料作成やプレゼンテーションの練習になります。大石先生の指導は親身でとても丁寧なので、学びやすい環境です。

大石ゼミ1期生（2009年卒）

ゼミ生のひとこと

